

財政から見る介護保険制度の課題

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとしてスタートし21年が経過しました。3年に1度の改正を重ね、わかりやすく使いにくい制度になっています。淑徳大学 コミュニティ政策学部の鏡 諭さんに現在の制度の課題をお話いただきました。



くにかね久子(大和市民会議/市議)

サービスが増え 給付も増加

介護保険制度ができた背景には、近い将来確実にやってくる「超高齢社会」に備え介護の社会化を進める必要がありました。この20年余で要介護者の在宅生活を支える様々なサービスが生まれ、福祉用具は進化し、介護を支える環境は大きく変わりました。施設サービスでは、特別養護老人ホームや介護付有料老人ホームなど施設も増えました。しかし、これらのサービス利用の継続は、給付と負担の関係で成り立っています。介護保険の給付額をみると、当初の2000年度は年間3・6兆円でしたが、2020年度には12兆円を超えています。

度重なる改正

介護保険は3年ごとに改正されます。2006年に地域包括支援センターの制度化及び介護予防の実施、2012年には介護予防日常生活支援総合事業及び定期巡回・随時訪問介護サービスの創設、2015年には総合事業が新たに作られました。しかし、実態は給付の削減であり自治体に負担を押し付け、政策づくりは丸投げです。地方分権の試金石と言われた介護保険制度ですが、事業計画に魂を残すのみとなっています。

現在、介護保険制度では「財源」と「介護人材」の2つの不安と不足が上げられます。介護保険の給付は20年間で約3倍となり、保険料も当初の2911円から5869円と約2倍になっています。これまでの改正の影響を検証することなく進められる制度改正でますます使いにくくなっています。

持続可能な制度に向けて

社会全体で介護を支えるため

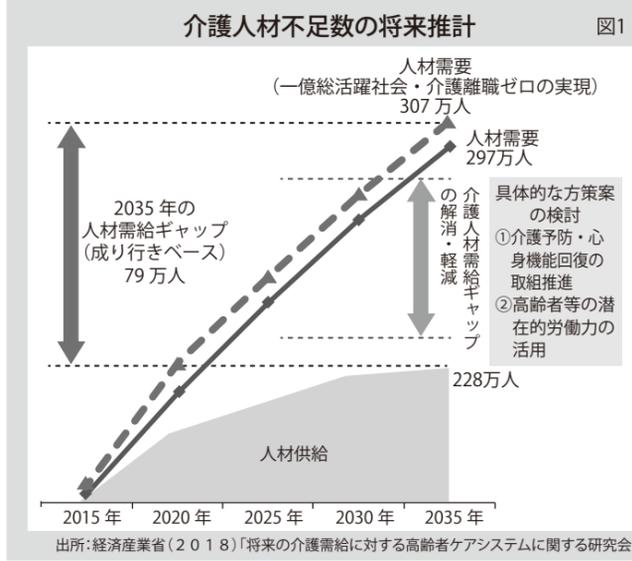
介護保険のサービス等の種類

Table with 3 columns: 要支援1・2 介護予防サービス, 要介護1~5 介護サービス, and 在宅サービス. Lists various services like home care, day care, and nursing home services.

この他に施設サービス、地域密着型サービスがあります

に真剣な議論が求められます。人材不足も早急に取り組むべき課題です。経済産業省は、団塊の世代が75歳以上になる2025年には、介護人材は37・7万人不足すると予測しています。(図1)問題の要因として、介護職の給与の低さと相次ぐ介護報酬の引き下げがあります。厚生労働省は基本報酬を上げることなく、様々な加算を付けていますが、対象とならない人との不公平感や、加算対応できない事業所などがあり、介護人材の報酬アップには繋がっていない実態があります。

国は介護労働者数を増やそうと、入国管理法を急遽改正して政策の方向転換を図ろうとしています。外国人労働者に頼るだけでは、根本的な解決とはなりません。介護の事由が発生した時、サービスが受けられるように始まった介護



弱さから学ぶ・創る

意識の変革



佐々木 ゆみこ (ネット宮前/県議)

NPO法人たまりば30周年シンポジウム「誰ひとり取り残さない弱さでつながる社会へ」が開催されました。当事者自身の原因となつているものを治す医学モデルから、社会や環境を変える社会モデルへの転換について考えるものでした。

生きづらさ、出来ないという苦労の中には、今の社会が忘れていた、あるいは切り捨ててきたメッセージが込められています。学校では集団生活が求められ、そのレールから外れると落ちこぼれのレッテルを貼られ、画一性が求められていきます。性差や年齢、障害や国籍などの違いが個性となり、強みとなる時代へと変わろうとしている中、直線的な生き方・考え方は受容や理解できないことが増えます。社会全体で思考を変えていくことが必要です。

神奈川県では2016年の津久井やまゆり園事件から5年が経過し、再生基本構想に基づき、2021年秋に津久井と芹が谷に新園舎が完成しました。この間、当事者の意思決定支援を丁寧に行い、地域に住居を移された方も、そのまま施設に入所を希望された方もいます。本人がどう生きたいか、考えに沿う支援のあり方に応える社会や環境づくりが求められています。現在、神奈川県では障害福祉計画の改定作業が進行しています。障害のある人を支援するだけでなく、障害となつて弱さが誰かの強みとなり、だれもが生きやすい社会変革に繋がる視点を計画に盛り込むことを提案します。

健康であり、マジョリティであることを基準としてきた社会から、だれもが弱さを持つ当事者であり、その弱さを社会全体で支えるという視点が求められています。シンポジウムでは、運動が苦手も弱さであり、それを克服する「ゆるスポーツ」の紹介が